

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ジョン F. ジャーム
第 2550 地区ガバナー：栃木 秀磨
事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



会長：村山 茂 幹事：植竹 一裕
事務局：(株)植竹虎太商店内 植竹 一裕
〒325-0056 那須塩原市本町 6-5
TEL:0287-62-1123・FAX:0287-63-9228
E-mail：k.uetake@coral.plala.or.jp
例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30
割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2744回 村山年度 第10回 会報 2016 -9-14 司会 豊田哲司君

お客様

- 株式会社パン・アキモト
代表取締役 秋元義彦様



- 株式会社 パン・アキモト
インターン奥山美樹様 NPO担当藤田和恵様



- 米山記念奨学生
蘇 呈歡君



会長挨拶 村山茂会長



皆様こんにちは。本日のご挨拶は、塩原温泉についてお話しさせていただきます。

去る9月11日、「塩原温泉感謝祭」に参列させていただきました。これと併せて「塩原温泉祭り」が2日間にわたり開催されておりました。

塩原温泉感謝祭は、明治時代の塩原開発における三恩人「三島通(みち)庸(つね)」、「奥(おく) 蘭(らん)田(でん)」、「尾崎紅葉」氏、そして昭和における三恩人「河野一郎」、「横川信夫」、「渡辺美智雄」氏の功績に対し、温泉街をあげて感謝の念をささげるとともに、今後のますますの繁栄を祈念して毎年行われています。

【 三島通庸 】

具体的にどのような功績があったのかといいますと、三島通庸氏は、1883年(明治16年)に栃木県令に就任し、当時、関谷から塩原へは狭小な馬道であったが、自ら監督し橋を架け、岩を削り新道を完成させたこと。そして、三島農場を開設して農村の生活指導に協力したこと。さらに、塩原福渡に別荘を構え、嫡男弥太郎氏が1903年(明治36年)に明治天皇に別荘を献上したことにより、塩原

出席報告 出席委員会 藤崎善隆君

(出席規定の免除会員数5名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日 9月14日	38(5)	30(2)	8(3)	85.7%		
前回 9月 7日	38(5)	32(4)	6(1)	86.5%	5人	100%

欠席の場合は当日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
メール gqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

御用邸が誕生したことなどです。ちなみに、完成した新道は、現在の「塩原街道」で国道400号線です。

・距離：19.4km(三島～塩原古町) 人夫：124,400人余、費用：48,400円余、工期：5か月

【 奥 蘭田 】

奥 蘭田氏は、1888年(明治21年)に塩原に来て、塩原地内畑下(はたおり)付近に別荘を新築し、そこを拠点に山溪を歩き回り、「塩溪(えんけい)紀(き)勝(しょう)」という4巻からなる漢文体和綴りの本にまとめました。そこには、塩原の風物、物産、古跡伝説、泉質、土石、草木に至るまで細大漏らさず記すとともに、全溪を十八景に分け、それぞれに有名画家の画を記入、さらには、塩溪(えんけい)詩(し)林(りん)と題する名士の詩文も集められるなど豪華なものでした。それが、1890年(明治23年)に出版され、塩原は全国の著名人に知れ渡り、名士の別荘が続々建てられるようになりました。この本は、塩原の妙雲寺に保管されているとのですので、一度拝見できればと思っています。ただ、漢文体ですので、私では読むことはできないと思います。

【 尾崎紅葉 】

尾崎紅葉氏については、名作「金色夜叉」と言えば皆様お判りのことと思います。この作中の「間 寛一」が塩原に遊んだことや、大自然の素晴らしさが文章に記されておりますが、その洗練された漢文調は塩原の風光を一層高め、1897年(明治30年)世に出されると、当時の文学青年や大衆の爆発的な人気を得、塩原は一躍全国に知られるようになりました。

【 河野一郎 】

河野一郎氏は昭和38年当時の建設大臣で、箒川溪谷添いの塩原街道の近代化改修工事に尽力し、昭和40年7月に一気に舗装改良の完工に至りました。愛称「塩原バレーライン」の誕生です。

【 横川信夫 】

横川信夫氏は昭和34年2月に栃木県知事に就任し、特に観光行政に深い理解を示され、日光国立公園内の道路整備、県営駐車場(66か所)の整備を行い、塩原地内では日塩もみじライン(昭和47年開通)、鶏頂山スキー場の整備など観光地育成に多大な業績がありました。

【 渡辺美智雄 】

渡辺美智雄氏は、昭和46年計画着工、昭和63年10月19日に開通した「尾頭トンネル」完工の業績を称えてということです。

【 塩原温泉祭り 】

最後になりますが、塩原温泉祭りは、昨年

100年の節目を迎えましたが、大正4年11月の大正天皇の即位の大礼の日に、塩原の人々が山車を仕立てて御用邸にお祝いに駆け付けたことが始まりだそうです。今でも、組内ごとに様々な山車を作り町内を練歩きます。

長々と塩原温泉感謝祭等についてご案内いたしました。私が、この感謝祭に参列するようになって5～6年くらいだと思います。最初に三島紀恩碑にて神事が執り行われ、続いて妙雲寺にて法要を行います。恩を忘れず感謝の意を体现するといったこと以上に、当事者ではない私も神妙な気持ちになってしまいます。

那須塩原市には板室温泉もごさいます。時間の都合もありますので、本日は板室については触れませんが、後日、機会を見てご案内したいと思っております。以上で、本日の会長挨拶といたします。ご清聴有難うございました。



米山記念奨学金贈呈



宇都宮大学農学部農業経済学科3年 蘇呈歡君



幹事報告 植竹一裕幹事



【理事役員会報告】

1. プログラムの承認について
10月度プログラム 承認されました。その中で、10月19日社会奉仕委員会を外来卓話にする件、承認されました。
2. 1年交換学生支援の件
7月1日現在の会員数で各1人2,000円を大田原中央RCに援助する件、承認されました。これにつきましては、後日口座引取と

させていただきます。

3. 9月24日に開催される「ふれあい広場」実施計画について
室井次男社会奉仕委員長の提案通り承認されました。
4. 嶋中事務局員の賃金について
前任者と同額に変更する事と、例会等参加した時の詳細を条項に織り込んだ労働契約書を締結する事で承認頂きました。
5. 観月会収支計画案について
吉光寺政雄親睦委員長の提出された収支計画通りで承認されました。
6. 会員推薦の件

【第10回幹事報告】

- ガバナー事務所よりハイライト米山が届きましたので回覧致します。
- 那須塩原市国際交流協会より視察研修の案内が届きました。大島三千三国際奉仕委員長にお渡し致しました。

委員会報告 荒井昌一副会長



皆様こんにちは、委員会報告を受け付けますので、報告のある委員会は報告願います。

- 村山年度ゴルフ愛好会 室井次男君



村山年度ゴルフ愛好会ゴルフ委員を務めます室井次男です、村山年度愛好会会長に大森貞男さんが選任されました。1年間スケジュールが決まりましたのでご案内します。日程に入れて頂き奮ってご参加下さるようお願いいたします。10月9日(日) 10月21日(金)地区大会記念ゴルフ大会、12月4日(日) 2月12日(日) 4月

9日(日) 5月14日(日)第1グループゴルフ大会です。会報に載せますのでご覧ください。

10月20日に年会費10,000円引き落としとなりますので宜しくお願いします。



ニコニコボックス 室井次男君



黒澤洋一君 秋元社長様には、御多用中のところ例会にて卓話をいただきありがとうございます。

村山 茂君 秋元様、本日の卓話よろしくお願ひします。

秋葉秀樹君 誕生祝ありがとうございます。

檜山達郎君 休みが多く考えなければ・・・。



卓話者紹介

雑誌委員会 委員長 黒澤洋一君



外来者卓話担当 雑誌委員会 黒澤です。

昨年度も例会にて卓話をいただきましたので、多くの会員の皆さまはすでにご存知かと思いますが、本日の卓話者ご紹介をさせていただきます。

(株)パン・アキモト代表取締役 秋元義彦様です。又、NPO担当の藤田和恵様、インターン生徒、奥山美樹様にも同席をいただいております。

地元の企業として現在、国道4号線東小屋地区にて“工場”“石釜パン工房”“きらむぎ”市内にて店舗を運営なされております。

多くの商品の中で皆様方、ご承知の通りの“救済鳥”は災害時の備蓄商品として世界的

に有名な商品の1つであります。又、去年はベトナム、ダナンに日本パンの店舗をオープン出店、沖縄“うるま市”にも工場が有り、本年11月には“サンフランシスコ”に“救缶鳥”の店舗を出店予定を聞いておりまして、国内はもちろん海外にも営業活動を展開中の企業でありますし、又東北大震災被災地には現在もボランティア活動を続行中とも聞いております。

本日は“小ぢやな会社” “大きなチャレンジ”をテーマに社会貢献企業を目指し発展を続ける地元企業アキモトパン様のお話をお聞き下さい。

では、しばらくの間、ご清聴お願い致します。それでは秋元社長、宜しくお願い致します。



卓話

● 株式会社 パン・アキモト 代表取締役 秋元義彦様



皆さん今日は、ご紹介にあずかりました秋元でございます。地元ですので、多分顔は見たことあると思います。

年々髪が少なくなってきた、いつまで頑張れるかなと思っています。こう見えても村山会長とは同級でございまして保育所、小学校、高校が一緒でございます。そして荒井副会長には親父の代からお世話になって、先ほどお話のあったNPO災害支援機構は事務方の方は私どもの方になっておりますが、会長を荒井さんをお願いしている次第です。

地元で商売をさせてもらっておりますが、お世話になっている人がたくさんいる、そんな会社です。

初めにアキモトってなんぞや、いま何をしようとしているか簡単に3分間ほどのビデオがありますのでご覧ください。

この映像はテレビで見たことがあると思います。アキモトとしては救缶鳥は2009年9月9日に誕生し、もう7年目になります。ようやく、いろいろな所で評価され、また売れるようになってまいりました。

ビデオの中の一コマ



7年目ということで我が社も長男が代表で営業の窓口になり、知っているかもしれないけれど知らない人も多いのではと考え、救缶鳥を地元にもっともっと知って頂こうと、皆さんのお宅や会社の方に、この9月集中的にご案内に回っているかもしれません。もしもお尋ねの時には優しく迎えてください。

皆さんご自身も備蓄されてみては如何でしょうか。皆さんの備蓄されたものが賞味期限前に海外に届けるシステムが出来ておりますのでご参画頂くと有りがたいと思っております。

皆さんどうでしょうか、今でも奥さんに向かって有難うって言えてるでしょうか。結婚前は君が僕の太陽だなんて言った人もいるかもしれませんが、あの頃の感激、感謝、感動どうでしょうか、もしかすると私も含めて薄れているかもしれません。何を言いたいかというと私達が今日、今こうして安全に食事が出来て、そして皆さんにご挨拶ができる、誰かが此の安全安心を守っているからです。有難うが出てきて然ります。

私たち日本人は今、安全が当たり前と思っているのではないのでしょうか。私は右翼でも左翼でもありませんが、時々災害現場に行くと自衛隊の方々と一緒になることがあります。海外に支援に行くと軍の人達と一緒にいることが時々あります。社会主義の国、また体制

が違ふと発想も違ふかもしれませんが、自分の家族を守ろう、自分のグループ、ファミリーを守ろう。命を懸けて守る人達がいるから、そのグループ、団体、地域が守られているのではないのでしょうか。我々は税金を払っているから、自衛隊が頑張れば良いんだなんて思っている方、一度考える機会を持つては如何でしょうか。

私が昨年ヨーロッパに行った時、異様な感じの風景を見ました。それは皆さんご存知のようにシリアから逃げてきた人々が、どんどんヨーロッパに逃げて避難している。俗に言う難民という人たちです。可哀想だと思いました。あの人たちは数か月前までは普通の人達だったそうです。貧乏とか着の身着のまま、そして汚い恰好をしてぞろぞろ歩いている。でもあの人達は数か月前までは学校の先生であったり、医者だったり社会的に地位のあった人が、内乱または米ソの代理戦争に巻き込まれ、ある日突然に難民となってしまった。

私も、その光景を見て、我々にはそんなことってないよねと思いながら、いや実際には身近にあるんですね。つい先日も岩手の台風被害、北海道の台風被害。両方とも私の友達が現地におりました。普通に生活している人が或る日突然そういうことになってしまう。10数年前、我々の近くでも那須の水害が起きました。黒磯この地区に居る人は大雨は経験しましたが、洪水は経験しておりません。でも那須町に住んでいる人は家が流され家畜が流された人がいます。期せずして、または悪いことはしていないのにと皆さん思います。

この原因は何だろう、私のぼんくら頭ではわかりませんが、ある時こんなことに気づかされました。非常です非常事態です。でも別の見方をしたときに、これが常識、通常だったら何かそこに原因があると思います。ちょっと想像を大きくして頂ければと思うんですけど、地球規模に考えてみたらですね、火山、地震、それから台風等は地球にとっては常識、自然なんですね。ご存知のように地球は生きているという言葉を使うと思います。マントルは動いています。それから地球は回っています。そういうことを見ると自然現象は何時でも発生する。私たちの心臓が動いているように、普通に生活しているように。

我々から見れば火山の噴火はとんでもないことかもしれません。那須が噴火したらとんでもないことかもしれません。でも、彼らにとっては、彼らという表現はおかしいかな。地球にとっては自然現象ですね。昨日も地震がありました。地震はマントルのひずみからくるらしいけれど、ひずみがずーと溜まって

いったら、それこそ巨大地震が起きる可能性がある。少しずつエネルギーが放出されていることが大災害が起きない可能性があります。

最近、気候が急激に変わってきました。原因は何だろう、新聞、テレビ、ニュース等で報じている地球温暖化。地球温暖化っていったい誰が起こしているの、もしかすると私たちの生活の有り方が極端すぎるのかもしれませんが。これが50年前、100年前の人間の生活であれば、これほど地球にダメージを与えていなかったかもしれません。そう思うと科学技術が発達し近代的な生活が沢山のエネルギーを使い便利な生活をしている。それがもしかすると地球にダメージを与えているのかなと、そういうことに我々は、もっともっと気を付けなければいけないんだと感じ始めました。

皆さんもそれぞれの職業の立場の中で自然現象、環境のことを考えているでしょうけれど、もう誰かがやれば良いという時期ではなく、自分に何が出来るかを考える時期になってきたのではないのでしょうか。もう手遅れの可能性もあります。幸い黒磯は安全な場所で水害になる可能性は少ないと思います。また那須山が爆発しても被害はここまでは及ばないかもしれませんが、私たちは大丈夫と思っています。でも確実にどこかで災害は起きています。

お話が前後して申し訳ないのですが、有難うという言葉が私たちの口から出なくなってくるとどうなのでしょう。有難うの反対って皆さんどんな言葉を思い浮かべますか。有難うの反対は当たり前という方が多いですね。あ、た、り、ま、え、権利意識が強くなった、これが常識だよと思っていますよね。でも、これをキープしてくれている人がいる。先ほどのお話の繰り返しになりますが、家族であったり、皆さんの企業が成長しているのであれば、皆さんの影で支えてくれる社員がいるからこそ企業が回っている。そういうことを我々は気が付いて、もっともっと口に出して、または表現していくべきだと思います。

皆さんはロータリアンとして社会貢献されています。全国にまた世界に沢山の友達それから仲間たち。私も時々ロータリアンに海外ですれ違うことがありますけれど、それぞれ特徴を持って活躍されています。私はパン屋としてビジネスを行っておりますが、今ビジネスだけで良いのかなと気が付かされます。社会ではソーシャルビジネスという言葉が使われ始めました。ソーシャルビジネスとは何だろう。我々の売上を上げ利益を上げていくビジネスアクティビティ、そして方や行政が行っているソーシャルアクティビティ、ソーシャルとビジネス役所ですから税金を使って公に仕事をする。そこに何があるかというと

公平という原則があります。私たちは反対に如何にして利益を上げるかですが、今は中間的なソーシャルビジネスが求められています。ではソーシャルビジネスとは何だろう。ある課題、それは老人問題とか交通安全の問題とか、そういう役所が行う問題を民間的発想を持ってビジネスの手法で解決していく活動のことです。

我々民間は利益がなければ続けられません。が役所は利益なしで運営できます。ですが利益はないけど無駄がいっぱいです。利益がなくたって事業さえあれば、極端な話、事業さえ行えば役所又は行政は良いのかもしれませんが。私たちは公平でなくても自分だけが利益を上げればという極端なところから、そうではなく中間的な発想で仕事をしながら社会にお返しがどれくらいできるかな、アキモトはパン屋として利益を上げていながら社会に少しでもお返しができるのだろうかと思いつかれ私たちは少しずつチャレンジを始めています。

ご案内頂きました救缶鳥をお客様が捨てて処分しても当然お客様の権利ですから仕方ないと思いつながら、社会を見回した時に、今日お腹が空いて亡くなってしまう人達が人口70億の世界に10億人、7人に1人が今日の食事もないという現状を知った時に、我々に何が出来、アキモトに何が出来。10億人全員にはできないけれど少しでもという思いで、アキモトの気持ちに賛同して頂ける人がいたら、その人達とチームを組んで現地に行こうと大きなプランを立てました。プランですから誰でも立てられます。でも実践となると相当のエネルギーが必要です。幸い私達にはヤマト宅急便やNGOそして沢山の人々に応援しようと言って頂き救缶鳥というプロジェクト立ち上がっています。

これを国内だけでなくアメリカでも出来ないかと、今アキモトがチャレンジしています。お話ししましたように60過ぎの爺ですから、これからアメリカに行ってゼロから始めるのはチョット厳しいかなと思いつながら、幸いに私と村山会長は同級生、また井上というニコンに勤めている同級生がロスにいて応援を受けています。それから仲間のNGOそして幸いに栃木に関連しているレオン自動機さんの紹介でサンフランシスコにパートナーとなってくれるパン屋さんが見つかり、この救缶鳥の事業をアメリカで始めます。

現在、年間数十万缶を災害物資として国内、アジア、アフリカに送っています。この事業をアメリカという先進国、なにぶんにもボランティアが大好きなアメリカです。この日本発のシステムがアメリカでチャレンジ出来る

か、私に意欲がなければ話は進みませんが、やりたいという気持ちは大いに有り、行うことがアキモトのミッションであると自分に言い聞かせています。もちろん社員の協力がなければできないと思いますし、いろいろなパートナーさんの協力がなければ出来ないと思います。その時の原点は有難うという言葉をお忘れずにしようと思っています。

日本で一番きれいな言葉は「有難う」らしいです。皆さんも良く使っていると思います。漢字に当てはめると、有ることが難しいことをしてくれたものに、感謝の心が「有難う」ということで日本で一番美しい。皆さんも聞いたことがあるかもしれませんが五田市剛さんが魔法の言葉ということで全国に広めています。私たちが感謝の気持ちを持てば相手の心に響き相手のアクションを引き起こすことが出来る魔法の言葉です。

皆さんのロータリー活動においてもボランティア重視の活動から発想を変えて、場合によっては収益事業へ一歩踏み込んでみては如何でしょうか。収益事業を行うことによって責任を負います。ソーシャルビジネスというのはアキモトにとってみると本業の周辺で見返りを求めない、社会に対するお返しと勝手に思っています。救缶鳥プロジェクトであったり、3・3「みみ」プロジェクトであったり。3・3「みみ」プロジェクトは3のつく日に食パンの3.3パーセント貯金し毎月被災地に行こう。大したお金ではないのですが、このプロジェクトでお客様に対して責任を負い毎月被災地に行くことが使命になっております。

先週は郡山の命の水で子供たちを救おうという団体のところに行つてまいりました。8名の仲間と行つてきたんですけど、もちろんボランティアですから一緒にの社員は無給です。でも喜んで行つてくれています。社長としては本当にありがたいと思つております。今、ベトナムのお店を息子たちが私に代わつてやってくれることになり喜んでおります。次に最初は私がやりますがアメリカの方も長男に託そうと思っています。

計画は誰でもできます。知っていることと出来ることは相当違ふと私は体感してきました。一歩進んで何かをやろうと思つたときはアクションを起こしては如何でしょうか。逆風の時ほどアクションを起こすべきだと教えられました。

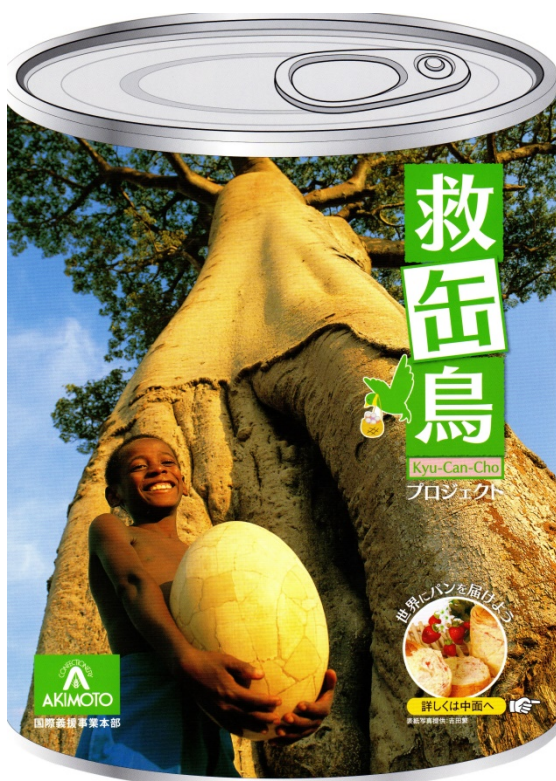
自然の風は方向を変えることはできない。北風が吹いてきた時どんなに人間が頑張つても南風に変えることはできない。でも帆は自由に変えることが出来る。ヨットは向かい風でも前に進みます。それはヨットの帆をコントロールするからです。目的に向かって真っ

すぐにはいきませんが、帆をコントロールすることによって45度の角度で進んで行って目的地に達することが出来ます。向かい風が吹いているから俺は止めておくよと港に留まっている人がいるでしょう。でも皆さんが留まっている時こそチャンスだと思います。

帆は自由にコントロールできる。皆さんもお仕事や社会へのアクティビティの中で、状況が悪いからお金がないから、できない理由は誰でも言えますが、今だからこそ、他の人がやらないからこそ、やろうぜというアクションは沢山の人の後で評価されますし、称賛されるのではないのでしょうか。

勝手なお話をしました。時間が来ましたのでこれまでにしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

ビデオの中の一コマ



9月14日欠席(敬称略)

小野安正・鳥居輝一・鈴木久雄・神山徳久
高木慶一・月江寛智・大森貞男・深町 彰

前回 9月 7日分メイクアップ(敬称略)

遠藤清和・檜山達郎・稲垣政一・藤崎善隆
戸野俊介

次回例会

平成 28 年9月21日

担当 会員選考 職業分類

近隣クラブ例会日

- 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
- 水曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
- 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

- 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
- 木曜日 那須/ホテルエビナール那須 0287-78-6000
- 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：稲垣政一・鳥居輝一・秋間 忍・高木慶一・安藤譲治